

2021年度学校評価

本年度の 重点目標	① 確かな学力と逞しく生きる人間力の育成 ② 3つの目標「進路希望の実現」「授業規律の更なる改善」「道徳性・社会性の醸成」		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
校内運営及び、 地域連携・家庭 連携 進路指導 (総務部)	式典への取 組及び地域・ 家庭との連携	式典や集会の意義を伝え、意識を高める。 地域や保護者、中学校に本校の取組を情報発信する。	式典の際に校歌を歌う機会を増やし、大きな声で歌えるよう、継続して働き掛ける。 行事、部活動等における学校や生徒の様子を、ホームページ等を活用し、随時、情報発信する。
	生徒の進路 希望の実現	進路ガイダンスや面談により、進路意識を向上させる。 外部組織との連携により、就職指導を充実させる。	生徒一人一人の能力や適性、進路意向を十分に把握し、将来を見据えた情報提供をしていく。 公共職業安定所や関係機関等との綿密な連携により、生徒に質・量共に充実した就職指導を行う。
	多忙化解消 に向けて	教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。	職務の分担・整理を進め、教職員の心身の健康に留意しながら校務の円滑な運営を工夫する。
学習指導 (教務部)	基礎学力の 定着	授業の教材の精選や工夫を行う。 基礎学力が不足している生徒にきめ細かく指導する。	小テスト、プリント学習、ノート点検等をきめ細かく実施する。 授業に加え、始業前や長期休業期間を活用し、「学び直し」の場をより一層充実させ、積極的な参加を奨励する。
	教科指導の充 実	授業規律を確立し、学習に前向きな姿勢を養う。 アクティブラーニングなど学習指導を工夫する。	授業の大切さを継続して指導し、授業で身につける内容を意識させる。 学習の進んでいる生徒が他の生徒に教えるなど、生徒同士が教えあう機会を多く設ける。
生徒指導	基本的生活 習慣の確立	遅刻・欠席者への指導を充実させる。	安易な欠席や遅刻をなくすよう、日常的に働きかけを行い、規則的な生活習慣を確立させる。
生徒会活動	交通安全指 導の徹底	交通安全、特に夜間の登下校時の安全意識を高める。	登下校時の立ち番などを通して、交通ルールの遵守を訴える。また夜間の登下校には特に留意させる。
	学校行事の活 性化	体育大会・文化的行事等への意欲的な参加を喚起する。	学校行事を、生徒会執行部を中心に運営させることで生徒の主体的な活動を促す。
保健厚生 (生徒指導部)	相談活動の 充実	健康観察、面談等を通して生徒の実態や変化をつかむ。	生徒に関する情報を共有し、スクールカウンセラーとも連携して生徒の心の安定を図る。
	美化活動及 び食育の推 進	給食献立掲示板を生徒に描かせるを通じ、食への理解を深める。	食育指導講座で栄養・健康の大切さを理解させるとともに、食文化としてのマナー指導も充実させる。
	コミュニケー ション能力の向 上	多様な生徒とのふれ合いをとおし、他者理解を深め自尊感情やコミュニケーション能力を高める。	学年の枠を越え、グループワークを実施する。良好な人間関係を構築することが不得手である生徒の対人関係のスキルアップをめざす。
総合評価	・確かな学力と逞しく生きる人間力の育成について 総合的な視野から様々な方策が進められているか。 ・3つの目標の実現について 個々の目標にそった具体的な方策の実現が図られているか。		